

釧路工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	国語
科目基礎情報					
科目番号	0005	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 3		
開設学科	機械工学分野	対象学年	2		
開設期	通年	週時間数	3		
教科書/教材	『改訂版 国語総合』(筑摩書房)、『現代文A』(東京書籍)、『カラー版 新国語便覧』(第一学習社)				
担当教員	小田島 本有,加藤 岳人				
到達目標					
コミュニケーション能力の基礎力を養い、「読む」「書く」「話す」「聴く」、それぞれの能力を総合的に生かすことができる。また、教材を通じて人類の文化にも触れ、幅広い視野に立って物事を考えることができる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	「読む」「書く」能力を十分に生かし総合的に活用することができる。	「読む」「書く」能力を一定程度生かして活用することができる。	「読む」「書く」能力を生かして活用することができない。		
評価項目2	「話す」「聴く」能力を十分に生かし総合的に活用することができる。	「話す」「聴く」能力を一定程度生かして活用することができる。	「話す」「聴く」能力を生かして活用することができない。		
評価項目3	人類の文化に触れ、幅広い視野に立って物事を考え、十分に表現することができる。	人類の文化に触れ、それなりの視野に立って物事を考え、表現することができる。	人類の文化に触れ、幅広い視野に立って物事を考え、表現することができない。		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 F					
教育方法等					
概要	あらゆる学問の根本として国語の重要性が叫ばれつつある。また、社会人に必須なものとしてコミュニケーション能力は欠かすことはできない。この授業ではその基礎力を養うことを主眼として、「読む」「書く」ことの徹底と、「話す」「聴く」ことの訓練を進めていきたい。特に社会科の科目との関連性がある。				
授業の進め方・方法	週3時間のうち2時間は教科書を使った講義形式の授業、1時間は表記トレーニングを実施する。なお、成績評価は定期試験の成績(80%)と読書レポート(10%)、表記トレーニングなどの提出物(10%)により総合評価を行い、60点以上を合格とする。読書レポートの提出が遅れた場合、遅れた日数に応じて減点の対象とする。未提出の場合は国語の単位を認めない。再試験は前期末、後期末、学年末に実施し、60点以上を合格ラインとする。				
注意点	教科書、ノートはもちろんのこと、この他に国語辞典、漢和辞典、便覧はいつも用意して授業に臨むこと。週1時間は表記トレーニングを実施するが、その提出を心がけて欲しい。その際に自己チェックの甘い学生には再提出を求める。なお、表記トレーニングの未提出は減点の対象とする。さらに夏休みの課題として読書レポートの提出を義務づけるが、未提出の学生には国語の単位を与えないので注意すること。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス、小説「セメント樽の中の手紙」(葉山嘉樹)①	葉山嘉樹の生涯を理解し、小説の表現を理解することができる。	
		2週	小説「セメント樽の中の手紙」(葉山嘉樹)②	"	
		3週	表記トレーニング①	正しい表記方法によって原稿用紙に書き写すことができる。	
		4週	小説「空き缶」(林京子)①	林京子の生涯を理解し、小説の表現を理解することができる。	
		5週	"②	"	
		6週	"③	"	
		7週	表記トレーニング②	正しい表記方法によって原稿用紙に書き写すことができる。	
		8週	前期中間試験を実施する		
	2ndQ	9週	和歌「万葉集」①	「万葉集」の歴史的意義を把握し、作品を鑑賞することができる。	
		10週	"②	"	
		11週	表記トレーニング③	正しい表記方法によって原稿用紙に書き写すことができる。	
		12週	漢文「嬰逆鱗」	漢文の基礎知識を把握し、故事成語を理解することができる。	
		13週	漢文「朝三暮四」①	"	
		14週	"②	"	
		15週	表記トレーニング④	正しい表記方法によって原稿用紙に書き写すことができる。	
		16週	前期末試験を実施する		
後期	3rdQ	1週	小説「ナイン」①	井上ひさしの生涯を知り、小説の表現を理解することができる。	
		2週	"②	"	
		3週	表記トレーニング⑤	正しい表記方法によって原稿用紙に書き写すことができる。	
		4週	評論「少女たちの『ひろしま』」①	梯久美子の仕事を知り、評論の表現を理解することができる。	
		5週	"②	"	
		6週	表記トレーニング⑥	正しい表記方法によって原稿用紙に書き写すことができる。	

4thQ	7週	詩「I was born」	吉野弘を知り、詩の表現を理解することができる。
	8週	後期中間試験を実施する	
	9週	詩「永訣の朝」①	宮沢賢治の生涯を知り、詩の表現を理解することができる。
	10週	” ②	”
	11週	表記トレーニング⑦	正しい表記方法によって原稿用紙に書き写すことができる。
	12週	小説「山椒魚」①	井伏鱒二の生涯を知り、小説の表現を理解することができる。
	13週	” ②	”
	14週	” ③	”
	15週	表記トレーニング⑧	正しい表記方法によって原稿用紙に書き写すことができる。
16週	後期末試験を実施する		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	2	
			論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。	3	
			文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	3	
			常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	2	
			類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	2	
			社会生活で使われている故事成語・慣用語の意味や内容を説明できる。	3	
			専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	
			実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3	
			報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	
			収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	
			報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	
			作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	
			課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	
			相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	
新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3				

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	80	0	0	20	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0